

平成二十八年度 前期選抜学力検査問題  
国語 (一時間目 四十五分)

次の文章を読んで、1～7の問い合わせに答えなさい。

一一 問題は、表と裏にあります。  
二 答えは、すべて解答欄に記入しなさい。

注 意

受検番号
氏名

表合計
-----

合計
----

**刻子**は、親のために命を捨てんとしけるほどの、孝行なる人なり。その故は、父母老いて、ともに両眼をわづらひしほどに、眼の薬なるとて、鹿の乳を望めり。刻子、もとより孝なる者なれば、親の望みをかなへたく思ひ、すなはち、鹿の皮を着て、あまたむらがりたる鹿の中へまぎれ入り侍れば、獵人、これを見て、まことの鹿ぞと心得て、弓にて射んとしけり。その時、刻子、これは、まことの鹿にはあらず、刻子といふ者なるが、親の望みをかなへたく思ひ、偽りて鹿のかたちとなれると、声をあげて言ひければ、獵人驚いて、その故を問へば、ありすがたを語る。されば、孝行のこころざし深き故に、矢をのがれて帰りたり。

そもそも、人として、鹿の乳を求むればとて、いかでか得さすべきなれども、思ひ入りたる孝行の、思ひやられてあはれなり。

(「御伽草子」による)

\*すなはち：そこで \*心得て：わかつて

1 わづらひ を現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きなさい。

- 2 本文中のA～Cの主語として適するものを、次のア～エからそれぞれ一つずつ選んで、記号を書きなさい。
- |      |        |       |        |
|------|--------|-------|--------|
| A 父母 | B イ 獵人 | C ウ 鹿 | D エ 刻子 |
|------|--------|-------|--------|

- 3 鹿の中へまぎれ入り侍れば とあるが、このときの状況を表しているものとして適するものを、次のア～エから一つ選んで、記号を書きなさい。
- ア ウイア 海老で鯛を釣る  
イ ウイア 虎穴に入らずんば虎子を得ず  
ウ ウイア 馬子にも衣装  
エ ウイア 長いものには巻かれろ

- 4 ありすがたを語る とあるが、刻子は鹿のまねをした理由をどのように語ったのか。解答欄にしたがって、十五字以内で書きなさい。

父母が両眼を病んでいるので
から

- 5 本文中における刻子の行動に最も近いものはどれか。次のア～エから一つ選んで、記号を書きなさい。

- 6 本文には筆者の感想が書かれている箇所がある。その内容を、次のようにまとめた。「a」には二字で適する語句を書きなさい。また、「b」には二字で、「c」には五字で当てはまる語句を、本文中からそれぞれ抜き書きしなさい。
- 筆者は、刻子は人間であるのだから、鹿のように行動することは、本来は「a」なことであるのに、そうせずにいられない刻子の「[b]」の心を、「c」と感じている。

a
b
c